

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	高度医療器械等整備事業		
事業担当	市民病院 病院総務課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働:		
	目的・目標	事業の概要	
	地域において良質で安全な医療の提供が受けられる状態となっています。	医療水準を確保し、良質な医療を提供するため、高度医療器械などの整備を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	高度医療器械等整備件数				単位	件
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	実績	68	57	91			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	実績						
成果指標①	指標名	患者紹介率				単位	%
	説明・算定式	(文書により紹介された患者数+救急用の自動車で搬送された患者数)÷初診患者の数×100(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	実績		56.2	64.9			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	実績						
進捗状況	①: 予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
X線乳房撮影装置(マンモグラフィ)、磁気共鳴断層撮影装置(MRI)など91台の高度医療機器を購入・整備したことにより、良質な医療を提供することができました。							
平成23年度の検証結果	A: 成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域において市民が良質で安全な医療の提供が受けられるようにするため、高度医療器械の整備の必要は高いものと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	先進の医療水準が確保できるよう、毎年、高度医療器械などの更新・導入を行い、有効性を高めています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	医療水準の確保や良質な医療提供を行う上で、必要不可欠な事業と考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	新しい器械の導入や器械の更新が急性期病院としての評価を高めるものでありますが、必ずしも手術件数や入院単価の増加に直接つながるとは限りません。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		新棟整備事業の進捗状況を踏まえつつ、当初予定していた機器の更新時期のスケジュール管理が必要となります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		高度医療器械などの更新・導入	高度医療器械等の更新・導入	高度医療器械等の更新・導入	高度医療器械等の更新・導入
財源内訳	国庫支出金	1,050	4,200	6,532	0
	県支出金	6,480	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	142,469	185,794	283,110	429,000
事業費 (A)		149,999	189,994	289,642	429,000
執行率 (%)		100.00	99.97	99.97	
内訳	職員 (人)	0.33	0.33	0.33	0.33
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,758	2,726	2,675	2,645
フルコスト (A+B)		152,757	192,720	292,317	431,645

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	最少の経費で最大の効果が得られるよう、高度医療器械を厳選することにより医療水準を向上させ、良質な医療を提供します。
課長コメント	地域医療を担う公立病院として、高度医療を確保するため、継続的に必要な医療器械を整備することは重要です。